

演奏で啓発 火の用心

石巻広域消防音楽隊 住吉中、桃生中とコラボ

石巻広域消防音楽隊の定期演奏会「第15回 火の用心の音楽会」が18日、マルホンまきあーとテラスで開かれた。第2部は隊員26人に仙台市消防音楽隊と地元に住吉中学校、桃生中学校の各吹奏楽部・班を加えた66人がステージに立ち、大

ホールを埋め尽くした約1250人の観客に迫力の演奏を届けた。1部は広域消防音楽隊の単独ステージで3曲を演奏。2部の合同演奏では令和4年の流行歌や昭和アイドルの歌、地元生まれのヒーロー「シージェットター海斗」の曲など幅広い

楽曲で中学生と隊員が音を重ねた。広域消防音楽隊は「火の用心を音楽に託して」をスローガンに活動。春の火災予防運動(3月1-7日)を前に方言で読み上げる防災かるたも紹介し、災害への意識付けをしながらかいを誘った。

アンコールの「石巻・わがふる里」では隊員が歌唱力を披露し、最後は「ラデツキー行進曲」で締めくくった。高橋英之楽長は壇上から「無限の可能性を秘めた中学生との演奏は貴重な財産」と感謝を述べていた。鑑賞した東松島市矢

本の大江富貴子さん(60)は「人数の多い2部は迫力があつた。中学生がよく一緒に演奏できるなど感心した。また来たい」と満足を述べた。石巻市駅前北通りの高橋泰子さん(82)は「懐かしい昭和の曲も石巻・わがふる里も久しぶりに聞けて良かった」と話していた。客席は満席になり、急ぎよ会場外にも椅子を並べて内部の映像を流した。【熊谷利勝】



大所帯の演奏会となった